特集　東北文化学園大学　建築環境学科

未来の豊かな住環境の創造担う逸材を育成

須藤副学長と八十川学科長に展望を聞く

建築設備分野に特化した人材育成を30年以上続け、実物重視の教育と他学科との融合でSociety5.0時代に対応する技術者育成を掲げる東北文化学園大学工学部建築環境学科。同学科が果たす役割や教育の特色について、須藤諭副学長と八十川淳学科長に聞いた。

副学長 須藤 諭 教授

現在の2コースの特徴は。

八十川　２０２５年から建築・インテリアコースと環境・設備コースの２コース制をスタートした。建築・インテリアコースは建築デザイナー養成だけでなく、施工管理などにも興味を持ってもらいたい。環境・設備コースでは、環境工学と設備を学ぶ科目群を16科目ほど設定。これは他大学の４倍ぐらいの科目数だ。建物の本来の目的である外部環境の緩和に精通した技術者を輩出したい。

須藤　１９９９年に４年制大学に移行した時は建築学科の新設が抑制されていたため「環境計画工学科」という名称であった。その後、建築科目３割という独自のカリキュラムを採用した。短期大学は７年間続き、情報工学科５６７人、建築設備環境学科４３８人の卒業生を輩出した。

Society5.0時代に対応

建築環境学科設立の経緯について。

須藤　スタートは１９９３年の東北科学技術短期大学開設で、当時は建築設備環境学科と応用情報工学科の２学科だった。宮城県には既に東北大学と東北工業大学の建築学科があり、専門学校でも建築科が多数あった。そこで既存の建築学科とは異なる建築設備を中心とした学科にする方針が決まった。当時から設備技術者の不足が叫ばれていたためである。設備系科目７割、建築系科目３割という独自のカリキュラムを採用した。短期大学は７年間続き、情報工学科５６７人、建築設備環境学科４３８人の卒業生を輩出した。この新カリキュラムにおける建築・インテリアコース充実のために実務で建築設計をやっている方々を新たに招へいした。建築家教員による実践的デザイン教育をスタートさせている。

卒業後はどういった進路が多いか。

八十川　設備関係が約３分の１、建築施工管理が４分の１、ハウスメーカーが６分の１程度で、残りがその他。女子学生は全体の２割程度で、主にハウスメーカーやリフォーム関連の建設会社に就職している。

須藤　就職先としてユアテックさんは大きな存在で、毎年２人ぐらいがコンスタントに就職している。

学科長 八十川 淳 教授

人材育成で心がけていることは。

八十川　この分野は教科書だけでは理解が進まないので、実物を確認することを重視している。実物に触れたり見学したりする時間を多く取り、１年生の時からディスカッション、見学を行い、なぜ勉強する必要があるのかという意義づけを行っている。ＯＢや上級生によるパネルディスカッション、実務家の先生による模型デザインスタディにも力を入れており、学生が遅くまで教室で模型と格闘している光景が見られるようになった。

資格取得について。

八十川　インテリア設計士は低学年のうちに取得している。建築施工管理技士にも挑戦している。

須藤　管工事施工管理技士は設備系の多くの学生が合格している。健康住宅アドバイザーも多く、これらは低学年の入門としてちょうど良い。１、２年生は共通科目を学び、３年生からコース分けになる。資格取得については課外勉強会を行い、学生には在学中の取得を推奨している。

今後の展望について。

須藤　Society5.0社会で、国も工学系教育に力を入れている。本学の工学部は建築環境学科、知能情報システム学科、臨床工学科という非常に珍しい構成だ。建設業界でもＩＴやＤＸが要求される時代なので、今後は知能情報との融合が重要でダブルメジャーのようなことも考えられる。また、臨床工学科では医療機器を扱っているので、病院施設の知識や手術室の空調、クリーンルーム技術なども学べそうだ。建築系学科が建築学部として独立していく中、われわれは逆に他学科との融合で独自性を出していきたい。

建設業界への要望は。

須藤　従来は女性の採用が少なかったが、今は男女の区別がなくなった。勤務地の希望配慮、福利厚生の向上、初任給アップなどは、大幅に改善されている。インターンシップも以前は短期間だったが、最近は長期間での受け入れや、３年生でも受け入れてくれるようになった。あえて言うなら、さらに低学年のインターンシップをもう少し受け入れてもらえるとありがたい。

ごあいさつ

学校法人 東北文化学園大学　理事長　石﨑 雄司

建設新聞読者の皆様、日頃より本学の教育研究活動にご理解ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

本学園は1978（昭和53）年に創立され、大学には医療系1学部2学科、社会科学系2学部2学科、工科系1学部3学科の計4学部7学科を擁しております。

建学の精神である「輝ける者を育む」のもと、本学は「自立した力を持ち、他者とかかわり合いながら未経験の問題に応える人」の育成を使命としており、この精神に基づき、地域社会への貢献を教育理念の柱の一つに掲げ、実践的な教育を通じて社会に貢献できる人材の育成に力を注いでおります。

社会の変化に対応できる柔軟性と、新たな価値を生み出せる創造性を兼ね備えた人材を育成するため、教育内容の不断の見直しと充実に努めております。また、地域の皆様と共に地域社会の発展に貢献してまいる所存です。今後とも、東北文化学園大学の教育研究活動にご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、建設業界の益々のご発展と、読者の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

建築環境学科の沿革

1993年	東北科学技術短期大学に建築設備環境学科が設置される。建築環境学科の前身となる。
1999年	東北文化学園大学開学に伴い、科学技術学部に環境計画工学科が設置される。建築環境に関する教育が本格化。
2013年	学科名を建築環境学科に改称。持続可能な建築や環境のデザイン教育を強化。
2021年	学部名称が工学部となる。初年次教育の強化とともに地域課題解決に向けた建築・環境デザインの実践的教育を推進。
2025年	建築・インテリアコースと環境・設備コースの2コースに再編。環境配慮型の建築空間設計技術や建物の長寿命化技術など、基礎教育と専門教育の両方を充実。

実社会から招へいした強力講師陣

2025年度の新カリキュラムで設置した「建築・インテリアコース」の充実を図るために2024年度から新たに招聘した3人の建築家教員（プロフェッサー・アーキテクト）

1 略歴　2 得意とする講義内容　3 講義で心掛けていること　4 在校生または本校を志望する高校生へ　5 その他

渋谷 達郎 教授

1 山形県生まれ。慶應義塾大学大学院修了。環境デザイン研究所、パシフィックコンサルタンツ、隈研吾建築都市設計事務所を経てアーキテクチュアランドスケープ設立。本学客員教授

2 建築設計、ランドスケープデザイン、環境デザイン

3 自らの手と足を使い、考え行動すること。建築の楽しさや魅力を、わかりやすく伝えること

4 本学の建築・インテリアコースでは、実務で活躍するプロフェッサー・アーキテクトから直接学ぶことができます。こうした学びの機会は東北の大学では限られています。社会環境や暮らしの変化に寄り添い、柔軟に発想できる力を仲間と共に育んでいきましょう。ここでの学びが、あなたの未来の第一歩になります

5 建築には、人の心を動かす力があります。美しさや機能性、そして歴史の積み重ねが、次の時代の建築を育み、新たな風景を生み出します

梅岡 恒治 講師

1 東京大学大学院修了後、磯崎新アトリエを経て独立。日立東大ラボ特任研究員、UDC2ディレクター等を兼務し、KUMY建築設計事務所設置。本学専任講師

2 まちづくり分野の経験を活かした建築設計演習や建築計画の講義

3 設計演習の中でも、施設見学や他大学連携など学外体験を取り入れつつ、学生コンペの積極的参加で自発的な学びを促すように心がけています

4 建築は実学的側面が強い分野なので、在校生には、学内に留まらず積極的に街へ出て、様々な体験をして欲しいと考えています。志望してくださる高校生の皆さんは、日常の生活体験を振返って、建築や都市空間の魅力に目を向け、関心を広げてみてください!

5 宮城に来て2年目となりますが、材料の生産地の身近さが東北の魅力だと感じており、東北だからこそできる建築のあり方を学生と共に考えていきたいです

冨山 正幸 助教

1 宮城県仙台市出身。千葉工業大学大学院修了後、設計事務所勤務を経て、トミ設計室を設立。本学助教

2 建築設計、建築CG、建築施工

3 今すぐ役立つ知識と、10年後に気づく学びの両立を目指しています

4 建築の学びは、自ら見つけた問いに、自らの手で応える探究の連続です。建築を学ぶことで自分というものも理解できるかもしれません。私自身も試行の途上です。時間はかかるものと思って、一緒に学んでいきましょう

5 実務経験を踏まえ、建築設計と教育の往復から得た視点を大切にしています。住宅ストックやデジタルファブリケーションなど、現代的設計課題にも取り組んでいます

東北文化学園大学工学部建築環境学科の発展と学生の深い学術探求を応援します（順不同）

株式会社TBGサービス
株式会社TBGサービスは、学校法人東北文化学園大学が100%出資して設立された会社です。当社は本学の教育、研究及び学生みなさまの学修や日常生活を側面からサポートするとともに、豊かな学園づくりに貢献するため様々なサービスを提供しています。当社事務室には、5号館1階北入口からご来室ください。
TEL 022-274-5130

一般社団法人 宮城県建築士会
Miyagi Society of Architects & Building Engineers
会長　佐藤 幸吉
〒983-0862 仙台市宮城野区二十人町301-3
宮城県建設業国民健康保険組合会館5階
TEL.022(298)8037　FAX.022(298)8038

空気調和・衛生・環境設備・設計施工
Atmax 株式会社アトマックス
代表取締役　佐々木　修
仙台市青葉区木町通1丁目2-4
TEL.022(262)3331
FAX.022(262)3336
URL:http://www.atmax.co.jp/
E-mail:info@atmax.co.jp

1835年創業　190余年の技
伊藤建設株式会社
代表取締役　伊藤 淳寛
宮城県岩沼市桜5-3-59
0120(915)700

特集　東北文化学園大学　建築環境学科

充実した専門教育を実践　環境対策・長寿命化技術など時代のニーズに応える

建築環境学科には「建築・インテリアコース」「環境・設備コース」の2つのコースが用意されている。

環境に配慮した建築空間の構成技術、長寿命化技術の獲得など、時代のニーズに応えるために充実した基礎教育と専門教育が行われる。実社会で建築空間と人間生活の適正な関係の構築や改善に寄与できる人材育成が目標に掲げられている。

1・2年次では理系・文系を問わず基礎力がしっかり養成され、アクティブラーニングで考える力が育まれる。3年次で専門知識を修得するため自分に合ったコースを選択することとなり、興味関心の高いテーマの研究室に属しゼミナール教育を受ける。

建築環境学科は、建築学を基礎とした環境工学、設備工学の専門カリキュラムを有する唯一の学科として毎年ほぼ100%の高い就職決定率を誇り、2コース共通の進路先としては建設会社や建築管理・物販会社、官公庁が多く、また、建築・インテリアコースではハウスメーカー、建築設計事務所、インテリアメーカー、環境・設備コースでは建築設備会社、設備設計事務所、設備機器メーカーなどへの分野が進路先となっている。

建築・インテリアコース　｜　住宅や医療福祉施設、インテリアなどを扱う一級建築士を育成する

地球環境に求められる建築・インテリアを学ぶ

震災復興、人口減少、高齢化社会、エコロジカルな今日的課題を念頭に、企画から建設までの総合的な建築・インテリア設計の技術と知識を修得する。現代の社会課題の解決を念頭に、CADや建築情報の3D化手法であるBIMなどの最新デジタルツールを活用し提案力を深めていく。開学以来、東北建築学生賞をはじめとする各種建築デザインコンペで連続入賞を果たしている。

取得資格目標として一級建築士、建築施工管理技士、宅地建物取引士、福祉住環境コーディネーターなどが挙げられている。

在校生から　建築環境学科4年 建築・インテリアコース
川田 つばめ

私は、幼い頃から工作や絵画など、何もない状態から形として作り上げていくことが好きで、夢中になっていました。このことがきっかけとなり、「モノづくり×デザイン」を学べる建築の道を選びました。

これまで製図や模型製作、CGなど幅広く専門知識を学び、それらはコンペにおいて活かすことができたと考えます。同時に設計の楽しさを知り、さらに追求するため、建築設計デザインコースを専攻しました。現在は「子どもの成長に欠かせない、学びを取り入れた遊び場空間の提案」をテーマとした設計に取り組んでいます。

私は、自身のアイデアを形として建物を残したい、という夢があります。将来は設計職の仕事に就き、実現できるよう頑張りたいです。

環境・設備コース　｜　本格的な設備教育カリキュラムで環境技術を学ぶ

エコ、省エネ、防災を扱う建築設備士、施工管理技士、健康快適な建築環境のプロを育成する

低炭素社会を目指した省エネルギーや、再生可能エネルギー利用技術、健康で快適な暮らし、災害対策等をテーマとして、建築設備の設計施工から維持管理までの技術と知識を修得する。前身の短期大学から引き継ぐ設備教育30年の伝統を基盤として学内でも特に高い就職決定率を誇っている。

建築設備士、二級建築士、管工事施工管理技士、エコ検定士などの資格取得が目標となっている。

在校生から　建築環境学科4年 環境・設備コース
高橋 太郎

私が建築環境学科を選んだ理由は、人々が安心して快適に暮らせる環境づくりに役立ちたいと思ったからです。地元の秋田で大雪による不便や危険を経験し、生活を支える設備の大切さを強く感じました。

現在は、建物に欠かせない空調や給排水、電気設備などを幅広く学んでいます。卒業研究では「避難所に設置するダンボールの防音性能の実態と改善方法に関する実験研究」に取り組んでおり、実験を通して災害時の生活環境を少しでも良くする方法を探っています。学んだことが社会に直接つながる実感があり、とてもやりがいを感じています。

将来は設備に関わる仕事に進み、人々の暮らしを支える役割を果たしたいと考えています。

広域で活躍する卒業生たち　OB・OGの声

2003年卒
岡村 裕介
[勤務先]
裕建築設計事務所代表

新築住宅や小規模店舗の設計・古民家のリノベーションなどを手掛けてきています。施主様や工務店さんの依頼により、設計希望のヒヤリングからプランニング・実施設計へ進み着工後の現場納まりや打合せなど工程に沿っての各業務の設計事務所としての仕事を請けています。

本学は建築設計・建築設備のエキスパートの教授陣が揃っていて、意匠と設備が一貫して学べた事が実務での設備検討への苦手意識を和らげ積極的に新しい設備の学びを手助けしてくれていると思っています。

事務所立ち上げから13年経ち、建築人としての人脈やネットワークの土台は出来てきたと思います。住宅着工数の減少や建築費高騰の中、建築業界を盛り上げるために建築設計・インテリア・ファニチャーの各業界で働く人達との新プロジェクトの立ち上げをしていきたいです。

各業界の横の繋がりを大切にしつつ、施主様にも手の届く建築・満足いく建築の実現を目指していきたいと思っています。

学生時代は好奇心の向くものにどんどん向かっていった方がいいと思います。私は、学生時代は商業建築や住宅設計に興味があり雑誌を見たり雑誌に載っている物件を実際見に行ったりしていました。目的があると実際の物件の見るポイントが変わり、自分の中の府に落ちていなかった部分も解消されてきます。

本学は学生と教授という間柄にも関わらず、相談事や質問に親しみやすく答えてくれた記憶があります。特に研究室での校外学習や卒業設計の時は、とても親身に協力して頂きありがとうございました。

2006年卒
間中 利彦
[勤務先]
株式会社
西原衛生工業所

西原衛生工業所は、創業以来100年以上にわたり給排水衛生設備を中心とした企業です。入社以来、新築工事現場を中心に多数の現場に携わり、現在は複合ビル新築工事現場で、現場代理人として給排水衛生設備業務を担当しています。責任も大きいですが、その分やりがいも大きいです。

学生時代の講義を通して、建築・設備設計、施工の専門的な知識や重要性を学んだことで、入社後も違和感なく仕事に取り組めました。特に、設備CADのスキルは入社後すぐに役に立ち、現在も必須のツールです。

建設業は高齢化が進み、人員不足が深刻となっています。だからこそ、これからはさらに若い力が必要です。若手が興味を持ち、業界全体が活気づくような環境をつくっていきたいです。また、新しい技術開発などにも挑戦していきたいと考えています。

昨今、さまざまな企業でインターンシップの受け入れを行っています。一つの業界や企業だけにこだわらずに幅広い視野で挑戦し、自分に合った進路を選んでください。

学業はもちろん大切ですが、趣味や友人との時間も全力で楽しむことが社会に出た時の大きな力になります。

当時は就職も厳しい状況でしたが、先生からのご紹介で西原衛生工業所へ就職することができました。いまもそのご縁に感謝しております。

2019年卒
庄子 夏姫
[勤務先]
株式会社イースペース設計

意匠設計に携っており、お客様とのヒアリングを重ね図面を描く仕事になります。

大学では設計は建てる人のニーズが大切という意識を重点に学びました。現在設計をする上で、お客様のニーズに対して興味を持つということに大きく影響しております。

携わった物件に対して任せて良かったとお客様に言ってもらえることが励みで、今後の夢でもあります。

大学は自分で学びたい事を学べる場所だと思います。後輩達にはその学びが将来に繋げられたらなと願っております。

コンペ、講義助手、フィールドワークなど様々な経験をさせて頂いたことで人前に出て話すこと、人との関わり方は現在でも活かされております。恩師の方々には感謝してもしきれません。

2019年卒
大崎 虹花
[勤務先]
アサヒアレックス東日本株式会社

インテリアコーディネーターは、お客様のご要望を伺いながら、専門的な視点からアドバイスや提案を行い、空間をコーディネートする仕事です。家づくりは大きなライフイベントなので、お客様にとって後悔が残らないよう常に気をつけています。

さらに経験を積みながら専門性を磨き、多様なご提案ができるよう、プロとして力をつけたいです。

本学は先生との距離が近くてアットホームな空気感が、自分に合っていると思いました。友人たちや先生方と楽しく過ごした時間はとても良い思い出です。

私が就職活動で悩んでいた時に先生方が声を掛けてくださり、ハウスメーカーである当社を紹介してくださったんです。あの時、当社につないでいただいたことにとても感謝しています。

東北文化学園大学工学部建築環境学科の発展と学生の深い学術探求を応援します（順不同）

豊かな社会とこれからも。
×
社会の当たり前を支える。
太平電業株式会社
https://www.taihei-dengyo.co.jp
本　社　〒101-8416 東京都千代田区神田神保町2-4 TEL.03-5213-7211（代表） 代表取締役社長　伊藤 浩明
東北支店　〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央4-10-3 JMFビル仙台0116階 TEL.022-225-5031 執行役員　東北支店長　西川 光司

「夢」「安心」そして「未来」を共に創り続ける
皆成建設
代表取締役　南　達哉
本社／仙台市若林区六丁の目元町2番11号 TEL.022(286)4821代 FAX.022(286)4850

総合設備工事のリーディングカンパニー
株式会社 サンテック 東北支社
支社長　大浪　聡
支社／〒984-0012 仙台市若林区六丁の目中町31番18号 TEL.022(353)9820 FAX.022(353)9830
本社／〒102-8440 東京都千代田区二番町3番地13 TEL.03(3265)6181 FAX.03(3234)6560

人に、街に、大地に。
仙台工業株式会社

建築系資格取得をめざすなら
総合資格学院
● 試験の解答・解説書
● 模擬テスト など
無料でご用意!
お申込はコチラ▶
田中 遥子さん
総合資格学院インテリアコーディネーター
中央1級建築士・1級建築士試験合格
当学院受講生・卒業

TAIHEI より快適な環境を提案する 総合コンサルティング企業
建築設備・総合ビルメンテナンス業
株式会社 太平エンジニアリング
東北支店
取締役支店長　高橋　学
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-6-22 TEL.022(295)6366
https://www.taihei-group.co.jp

DOHZI 地域と融和し豊かな未来を
同事建設株式会社
代表取締役　芦野　正吉
〒982-0037 仙台市太白区富沢西4-19-19 TEL.022(307)4384　FAX.022(307)4306

確かな技術で地域の幹となり夢を支える
電気・空調・給排水衛生工事　設計施工
隼電気株式会社
代表取締役社長　千葉 ミオ
本社 〒984-0042 やまとまち 仙台市若林区大和町五丁目30番22号
TEL(022)284-8823㈹
FAX(022)284-8831

HIRANO GUMI
平野組
https://www.hiranogumi.co.jp/

冷暖房空調衛生設備から上下水道設備　設計・施工 人のそばに、夢のそばに。
山二施設工業株式会社
代表取締役社長　阿部 公雄
本　社／〒010-0951 秋田市山王5丁目1-7 TEL.018(823)8146
支　店／横手
営業所／大曲・本荘・能代・湯上・男鹿
http://www.yamani-s.co.jp

空調・給排水・特殊空調設備、設計・施工・管理
NEKKEN
熱研プラント工業株式会社
代表取締役　船橋 吾一
仙台市宮城野区扇町5-8-4 TEL.022(253)7931
koelu